Annual Report 2019 年次報告書

2019 年 3 月 1 日〜2020 年 2 月 29 日

Earth Caravan
PILGRIMAGE FOR PEACE & JUSTICE

特定非営利活動法人アースキャラバン

Flame OF Hope
One Earth - One Prayer - One Flame

EARTH CARAVAN HISTORY 2019

2019年度　アースキャラバンの歩み

3月 バチカン市国
ローマ教皇、原爆の残り火を吹き消す！ P.3

6月 ヨーロッパツアー
過去の悲劇を乗り越え、文化をシェアする P.7

8月 原爆の残り火吹き消し
核と武器のない平和な世界をシェアしよう P.4

9月 「希望の火」プロジェクト
人類共通の願い「絆と平和」を形に。「希望の火」が生まれた P.5、6

ご挨拶

2019年は『希望の火』プロジェクトが始まった年でした。

そして、例年以上に平和を願う多くの人々と出会い、力を合わせることができました。

たくさんの人々の真摯な願いのエネルギーが『希望の火』に込められ、そのパワーは、日々強くなっていくように感じています。

人類共通の願いは「絆と平和」。なのに、世界はなぜ分断され、争いが絶えないのでしょう？

一体、そのために私たちができる行動は何なのでしょうか？

“もしかしたら、子どもたちの心の内に、希望の火を灯す行動こそが世界を変えるのではないか？”実は今、私はそんな想いを強くしております。

そのためにも、ますます心ある皆さまとさらに気持ちを１つに力を合わせ、「絆と平和」を創っていきたいと存じます。

どうか、引き続きの温かいご支援、お力添えを心よりお願い申し上げます。

NPO 法人アースキャラバン理事長
野本　祐子

Europe

Palestine

パレスチナ支援 P.8

Bangladesh

バングラデシュ支援 P.9

Japan

「希望の火」ツアー・前半
「希望の火」ツアー・後半

9/26 鹿児島　前々夜祭
日本福音ルーテル鹿児島教会

9/27　長崎　前夜祭
浦上天主堂
9/28　出発式
大浦諏訪神社
妙行寺
大浦天主堂
11/24
長崎ビッグＮスタジアム

10/2　門司
門司港 シャッチョビル mojiko
10/3　世界平和パゴダ

9/29　熊本
日本福音ルーテル大江教会

10/4　防府
防府カトリック教会
10/5　イオンタウン防府

10/6　広島　世界平和祈念堂
10/7　広島　もみじ作業所、円光寺、広島女学院高校
10/8　東広島　東志和小学校
尾道　妙宣寺

10/9　岡山
黒住教本部

10/10　赤穂
普門寺

10/11
知恩院前到着
11/15　京都
西本願寺
檀王法林寺

11/15　滋賀
観音正寺
立正佼成会 滋賀教会
日本キリスト教団近江八幡教会

11/16　岐阜
カトリック岐阜教会
日本児童育成園

11/17　名古屋
名古屋モスク
日本キリスト教団 名古屋中央教会
11/18　豊橋
桜丘高等学校

11/20　松本
日本キリスト教団 松本教会
臨済宗妙心寺派醫王山 神宮寺

11/21　甲府
甲府聖オーガスチン教会

11/24　東京
聖救主教会（まこと保育園）
日本聖公会
日本山妙法寺渋谷道場
ルーテル市ヶ谷教会
11/25
東京ドーム

11/21　横浜
光輪寺

11/24 ローマ教皇長崎ミサ（長崎ビッグＮスタジアム）
11/25 ローマ教皇東京ミサ（東京ドーム）

ローマ教皇、「原爆の残り火」を吹き消す！

2019 年 3 月 20 日、バチカンのローマ教皇に謁見。核と武器の廃絶の象徴として、「原爆の残り火」を吹き消して頂きました。

＊「原爆の残り火」・・・1945 年 8 月 6 日から、今も尚、燃え続けている、福岡県八女市星野村の「平和の火」。

アースキャラバンに同行していたのは、2017 年ノーベル平和賞を受賞したサーロー節子さんと、「四つの地域と宗教」というバックグラウンドを持つ、13 歳の 4 人の少女たちです。

大人が平和を創らないのなら、私たちがやる

1）長崎被爆三世の岡田夕咲（ゆうさ）さん（キリスト教）
2）ウィーンのミリヤム・シュミッツホファーさん（仏教）
3）パレスチナのジャナ・イブリヒムさん（イスラム教）
4）アメリカのヤスミン・アボウザグロさん（ユダヤ教）

「核と武器のない平和な世界」をシェアしよう！

京都から松本まで、広島原爆の残り火「平和の火」を携えて自転車で巡り、各地でイベントを行いました。

広島被爆二世の本岡丈又さん、15 歳の東昌一郎君の他、ローマ教皇に謁見したオーストリアの医師アリス・シュミッツホーファーさん、13 歳の娘のミリヤムさんも来日参加しました。

キャラバン一行は、各地の市長や宗教者の方々を訪問し、ローマ教皇にしていただいたのと同じく、「原爆の残り火」吹き消しセレモニーをしていただきました。

原爆の残り火吹き消し

廣瀬 卓爾 / 浄土宗平和協会・理事長，　宮城 泰年猊下 / 聖護院門跡門主・京都宗教者平和協議会理事長，
小西 理 / 近江八幡市・市長，　岡村 遍導 / 観音正寺・住職，
深見 祥弘 / 日本キリスト教団近江八幡教会・牧師，　後藤 益巳 / 立正佼成会滋賀教会・教会長，
平尾 道雄 / 米原市・市長，　後藤 かおり / 名古屋聖マルコ教会・牧師，
川田 秀文 / 高山市市民活動部・部長，　三島 多聞 / 真宗大谷派高山別院・輪番，
菅谷 昭 / 松本市・市長

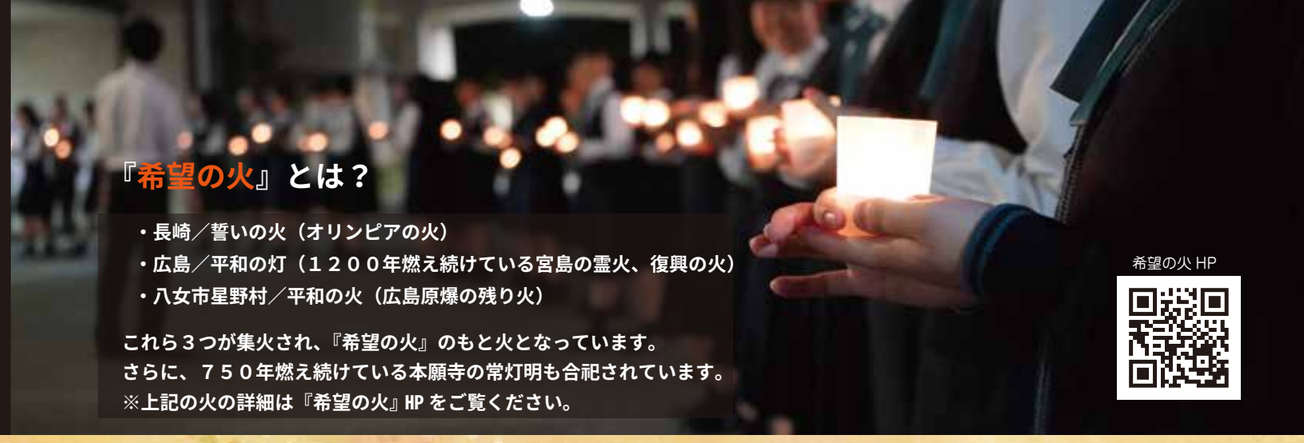
8 月 6 日　京都市・檀王法林寺にて、京都宗教者平和協議会の平和の集いで出発式
　　近江八幡市・小西市長表敬訪問、観音正寺においてイベント
8 月 7 日　米原市・平尾市長表敬訪問、名古屋市・聖マルコ教会にてイベント
8 月 8 日　高山市役所表敬訪問、高山市平和の鐘を撞く
8 月 9 日　真宗大谷派高山別院にてイベント
8 月 10 日　松本市・菅谷市長表敬訪問「平和の灯」の記念碑前にてセレモニー、ビオパークにてイベント

菅谷 昭 松本市長からのメッセージ

「今日の原爆の残り火の吹き消しを次の活動へのステップとし、平和の連鎖を広げるため、松本市といたしましても「火」を介した平和のメッセージを、力強く発信していく機会と考えております。

アースキャラバンの活動の輪がより大きく広がっていくことを期待しております。」

（松本市役所前
「平和の灯」（広島の火）を前にして）



『希望の火』とは？

・長崎／誓いの火（オリンピアの火）
・広島／平和の灯（１２００年燃え続けている宮島の霊火、復興の火）
・八女市星野村／平和の火（広島原爆の残り火）

これら３つが集火され、『希望の火』のもと火となっています。
さらに、７５０年燃え続けている本願寺の常灯明も合祀されています。
※上記の火の詳細は『希望の火』HP をご覧ください。

希望の火 HP

人類共通の願い「平和」を形に。『希望の火』が生まれた。

２０１９年秋に誕生した『希望の火』。この火には、今もなお、そしてこれからも、人類の平和への祈りが込められ続けていきます。

『希望の火』ツアーのスタート

9 月 27 日　長崎の浦上天主堂の前夜祭で「長崎誓いの火」に、参列者の祈りが込められ、『希望の火』が誕生しました。来賓には田上市長、被団協の田中熙巳氏の他、諸宗教の方々をお招きし、平和のメッセージをいただきました。

田上市長による「原爆の残り火」吹き消し

『希望の火』献火式　（長崎・浦上天主堂）

翌日は被爆２世の本岡さん、イスラエルのマガリさん、オーストリアのダニエラさんが、ローマ教皇の東京ミサに向けて、自転車で出発しました。

「祈りの三角ゾーン」での出発式　（長崎・大浦天主堂）

前半：鹿児島から京都まで

前夜祭の前日に訪れた鹿児島、出発地の長崎。そして熊本、別府、門司を経て、山口県防府、広島、岡山、赤穂。さらに神戸、京都までの各地で、『希望の火』に祈りを込めていただきながら走りました。

ミャンマー僧侶と法要（福岡・世界平和パゴダ）

「平和の灯」採火式（広島・平和公園）

後半：ローマ教皇の東京ミサへ向かって

11 月 15 日　出発は、京都の浄土真宗本願寺派西本願寺。石上総長から平和メッセージをいただきました。

『希望の火』に「常灯明」が加わる（京都・西本願寺）

滋賀、岐阜、名古屋、松本、甲府、横浜の各地で、多くの人々の祈りが加えられた『希望の火』。11 月 22 日、東京ドームの「鎮魂の碑」の前に到着しました！

サイクラーを迎える高校生（豊橋・桜丘高等学校）

『希望の火』組曲（名古屋中央教会）

「鎮魂の碑・到着式」で、報道陣から取材を受ける（東京ドーム）

長崎ミサから東京ミサへ

『希望の火』は長崎ミサ（長崎ビッグ N スタジアム）でも灯され、３万５千人の祈りが込められました。

さらに、東京ミサ（東京ドーム）でも灯され、５万人の祈りが込められました。

11/24 ローマ教皇、長崎ミサにて献火された『希望の火』（長崎ビッグN スタジアム）

11/25　東京ミサ終了後、祈りが込められた『希望の火』を前に　（東京ドーム）

※『希望の火』は、長野県松本市にある和田寺タオサンガ・国際念仏道場で、常設されます。

Special Thanks

【前半】 9. 26/森 博幸 /鹿児島市・市長 , 9. 27/田上 富久 /長崎市・市長 ,9. 27/田中 熙巳 /日本原水爆被害者団体協議会・代表委員 ,9. 27/尾高 修一郎 / 浦上天主堂・神父 ,
9. 27/八坂 親准 /世界宗教者平和会議日本委員会 ,9. 28/三角 紘容 /真宗大谷派妙行寺 住職 ,9. 28/今村 豊親 /大浦諏訪神社・宮司 ,9. 28/幸 利唱 /立正佼成会長崎教会・青年部 ,
9. 28/諸岡 清美 /大浦天主堂・神父 ,9. 28/立花 顕則 /浄土真宗 圓立寺・住職 ,9. 29/立野 泰博 /日本福音ルーテル大江教会・牧師 ,9. 29/鳴瀬 弘人 /九州学院・高校生 ,
10.2/梶田昌嗣 /シャッチョビル mojiko,10. 3/Min Thit/世界平和パゴダ　,10. 3/金田 隆栄 /光明修養会・理事長 ,10. 4/三原 俊寛 /防府海北園・理事長 ,
10. 4/グレゴリオ 朴 考鎮 /防府カトリック教会・主任司祭 ,10. 5/池田 豊 /防府市・市長 ,10. 5/井上 たけし /山口県会議員 ,10. 6/フランシスコ 荻 喜代治 /世界平和祈念堂・神父 ,
10. 7/井上 一成 /もみじ福祉会・理事長 ,10. 7/加藤 睦治 /広島市シニア大学院 OB会・元会長 ,10. 7/広島女学院高等学校グローバルイシュー部生徒一同 ,
10. 8/藤原 吏枝 /東広島市立東志和小学校・校長 ,10. 8/加藤 千政 /日蓮宗妙宣寺・副住職 ,10. 9/黒住 宗道 /黒住教教主 , 10. 9/永宗 幸信 /RNN（人道援助宗教 NGOネットワーク）・委員長 ,
10. 10/牟礼 正稔 /赤穂市・市長 ,10. 10/藤本 恵祐 /赤穂明王山普門寺・住職 ,10. 11/大樹 玄承 /天台宗書写山圓教寺・執事長
【後半】 11.15/石上 智康 /浄土真宗本願寺派・総長 ,11.15/信ヶ原 雅文 /檀王法林寺・住職 , 11.16/ブライアン・テーラー/カトリック岐阜教会・主任司祭 ,11.16/長縄 良樹 /日本児童育成園・園長 ,
11.17/Ahmed Zeid（アハマド・ゼード）/名古屋モスク ,11.17/草地大作 /日本基督教団名古屋中央教会 ,11.18/桜丘高等学校生徒一同 ,11.20/柳谷 知之 /日本キリスト教団松本教会・牧師 ,
11.20/谷川 光昭 /臨済宗妙心寺派神宮寺・副住職 ,11.21/眞野 玄範 /甲府聖オーガスチン教会・牧師 ,11.21/村石 恵照 /浄土真宗本願寺派光輪寺 ,11.24/フランシスコ・ザビエル 高橋 宏幸 /日本聖公会・東京主教 ,
11.24/鍋内 美香 /社会福祉法人カリタスの園 児童養護施設 小百合の寮・副施設長 ,11.24/武田 隆雄 /日本山妙法寺 渋谷道場・主任 , 11.24/安富輝、谷口健太郎 /日本福音ルーテル市ヶ谷教会

地元の人たちの絆を創り、過去の悲劇を乗り越えるヨーロッパツアー

ユーゴスラビア内戦（１９９１～２００１年）は、同じ団地に住む近所の人同士で殺し合うようなものでした。

未だ心の傷を抱えている現地の人々を癒す、文化交流のイベントを行いました。

セルビアの旅

セルビアのペトロヴァッチ・ナ・ムラヴィ市のイベントでは、地元のバンドも出演。

アースキャラバンは、折り紙、書道、茶道、着物、タオ指圧といった日本文化で交流しました。

地元テレビでも放映されました。家族連れも多く、たくさんの人々がイベントを楽しみました。

SHARE THE EARTH, HAPPINESS AND FREEDOM !

ボスニアの旅

セルビアから車で約７時間、ボスニアのスレブレニツァ市に到着。途中、虐殺された 8000 人以上の人々が埋葬されている霊園を訪れ、内戦犠牲者に祈りを捧げました。

地元の NGO である「スレブレニツァ希望の街」（Srebrenica - City of Hope）と共同イベントを開催。文化交流によって、絆を深めました。

地元音楽家と三味線のコラボ

漢字の名前に喜ぶ子どもたち

現地参加者の声

アースキャラバンが世界中の様々な国、そして異なった宗教をもつ人々とつながりを持っているのを見て感動しました。平和と幸せをシェアするため、様々な国の人々が一緒に活動するアースキャラバン！ 彼らとのコラボレーションは素晴らしい経験でした。

Mevlida メブリダさん
（地元女性の自立を促進する会）

飲める水があるという幸せ

～脱塩浄水機器・設置プロジェクト～

ガザは水質が悪く、病気が蔓延しています。すべての子どもたちがお腹に寄生虫を持っています。イスラエル占領軍によって、深い井戸を掘ることが禁じられているためです。

ガザのアハメッド・タウラ医師の懇請により、2017 年に「ガザ地区浄水プロジェクト」を発足させました。そして 2018 年 11 月、1 台目となる脱塩浄水機器を設置。1 日約 1000 人の人たちに安全な水を供給し、現地から多くの喜びの声が届いています。2 基目の設置を目指していますので、みなさまのご支援をお待ちしています。

パレスチナ支援

Palestine Support

非日常が日常の世界

パレスチナ写真展

真実のパレスチナを知ってもらうため、写真展を開催しました。パレスチナ人の写真家 / ジャーナリスト、ハイサム・ハーティブ氏の作品 22 点とガザ写真家協会の作品 37 点。なかなか見られない貴重な作品たちです。

ハイサム氏は、ドキュメンタリー映画の舞台にもなったビリン村在住。イスラエルによる土地略奪への非暴力抵抗運動の象徴として、海外からも多くの支援者が集まっているところです。

ガザ地区の写真は、長年続くイスラエルによる軍事占領の苛酷な現状と、その中で慎ましく暮らす人々の素顔が描かれています。

来場者のアンケート感想には、驚きや心を痛める気持ちが多くつづられていました。

京都東本願寺のしんらん交流館・9 月 25 日～10 月 24 日

～来場者の感想～

過酷な今を生きている中でも笑顔を見せる子どもたち。彼らの未来を想い、一日でも長く生きのびられますように、と願うばかり。

（60 代）

なぜ、こんな悲惨な毎日が続かないといけないのか。それに対して、国際社会が何一つできないのはなぜなのか？

（30 代）

胸がつまりました。この占領、不平等を変えてほしい！　（50 代）

パレスチナの人によって撮られた写真展は、貴重なものだと思います。（60 代）

遠い国のお母さん、お父さん、今日も学校に行ってきます。

バングラデシュの少数民族仏教徒たちは、未だに一部で虐殺、土地の略奪、レイプなどの迫害にあっています。「バングラデシュ村の里親プロジェクト」はラカイン仏教徒の村の子供たちの教育環境を向上させます。

里子からの絵手紙

このあいだ、学校のみんなと初めて水族館に行ってきました。
たくさんの魚が観れて、とても面白かったです。
そして、誕生日会もありました。
みんなでお祝いしてとても楽しかったです。
こんなにいろいろな行事があってすごく嬉しいです。
みなさんからのサポートに感謝します。
最後にみなさまの幸せと健康を願っています。

Thank you
U Sen Than (class: 10)

少数民族仏教徒(ラカイン)小学校３校の運営

【クルスクル村】

村から出たことのない子どもたちが初めて遠足を行い、水族館を体験しました。

【チョフロンギ村】

屋根を修復し、新校舎を完成させました。村長さんも、“これで子供たちが、雨風や寒風の心配をせずに勉強出来ます”と喜んでいます。

【バルバキア村】

今、ここの学校の先生になっているのは、Uwan Ting Rakhine さん。

彼に初めて会った時、極度の貧しさに夢を失ない、不登校になっていました。

しかし、日本の里親がついたことが心の支えとなって、一念奮起。

カレッジに進学し、ついに先生になって私たちを感動させてくれました。

仏舎利塔公園の管理

丘の上にある仏舎利塔公園は、バングラデシュ仏教徒たちの信仰の拠り所です。

街の喧騒から離れてホッとできる、緑豊かなパワースポットになっています。

アースキャラバンが雇っている２人の管理人さんたちが、日々の清掃や植物の世話を行い、綺麗な花が咲いています。

雨季の大雨で起こった崖崩れで仏舎利塔の１つが崩壊。現在、修理費 50 万円の追加予算で修復中です。

ラカイン料理

会計報告

2019年3月30日～2020年2月29日

【収支報告】

■事業収入

－収入内訳－

・アースキャラバン会費収入 ・・・・1,240,024 円

・活動への支援金 ・・・・・・・・・・2,184,120 円

【収入総額】 ・・・・・・・・・・・・3,434,042 円

■事業支出

－支出内訳－

・支援金 (国内外) 総額 ・・・・・・ 809,455 円

・アースキャラバン活動費 ・・・・・4,975,505 円

【支出総額】 ・・・・・・・・・・・・5,784,960 円

【当期経常増減額】 ・・・・・・・・▲2,350,918 円

【支援報告】

1. パレスチナ支援 ・・・・・ 301,322 円
2. バングラデシュ里親村支援・ 458,010 円
3. 災害支援（災害 NGO 結）・・・50,123 円

【支援総額】 ・・・・・・・・・・ 809,455 円

Music for Hope プロジェクト

アースキャラバンでは、「貧困と紛争地域の子供や青少年に楽器を学ぶ機会を与えること」を目的に、使用済みの楽器や、新しい楽器を購入するためのお金を支援し、また子供たちに教える音楽の先生を見つける手助けをしています。

2020 年 2 月、ナブルス市のパレスチの難民キャンプと音楽学校で使う楽器購入を支援しました。

この活動によって、一人でも多くの子どもたちが、未来に希望を持ち、自分の才能を伸ばし、笑顔になることを願っています。

団体概要

名　称	特定非営利活動法人　アースキャラバン
設　立	平成 18 年 4 月 26 日
事務所	京都市東山区古門前通大和大路東入元町 367 番地 2
代表者	理事長　野本祐子　(設立時理事長　遠藤喨及)
目的等	人種、国籍、宗教、信条を問わず全ての人々に対して、氣と心のワークショップの開講、整体の施術、地域通貨の運営、芸術活動、海外援助活動に関する事業を行い、世界中の明るく豊かな未来に寄与することを目的とする。
事業内容	①氣と心のワークショップの開講　②チャリティ整体の施術　③チャリティイベントの企画及び運営 ④平和、国際協力に関する啓発活動　⑤途上国の子どもたちの教育支援ならびに里親支援　⑥国内・海外支援活動 ⑦地域通貨の運営　⑧その他、目的を達成するための事業

NPO 法人アースキャラバン 沿革

■2006 年 4 月 26 日　浄土宗和田寺の住職でタオ指圧創始者の遠藤喨及によって設立される。東京と京都で「気と心の学校」、チャリティ施術等を開始し現在に至る。中東の子ども達への支援を開始。

■2007 年度 バングラデシュの子どもたちに対する教育支援活動を開始（孤児院 1、小学校 2 を開設。以後、毎年継続的に支援）

■2009 ～ 2010 年度　ハイチ地震復興支援活動

■2011 年 3 月　東北大震災支援活動開始（物資援助、被災者への定期ボランティア指圧の実施）

「ユニ・チャリティフェスティバル 2011」開催。

■2012 年～ 2013 年度　パレスチナ支援、タイ／ HIV 孤児施設への支援。京都センターにて、震災避難者にボランティア指圧施術（月 2 回）、気仙沼避難所にボランティア施術者派遣。

「ユニ・チャリティフェスティバル 2012」京都・国際交流会館にて開催。

■2013 年度　フィリピン・レイテ島台風被害支援（椰子の木募金）

アメリカ・オクラホマ竜巻支援金。戦時写真返還プロジェクト（元アメリカ兵が所持していた写真の写真展開催。2 遺族への返還。沖縄タイムス、朝日新聞、京都新聞に記事掲載）、京都・梅小路公園にて「ユニ・チャリティフェスティバル 2013」開催（チャリティ支援金 978,992 円）。

■2014 年度　バングラデシュの少数民族仏教徒ラカイン族の里親プロジェクトを開始。

■2015 年度「アースキャラバン 2015」広島からスタートし、ヨーロッパ、中東を巡り、エルサレムにて終了。

■2016 年 3 月 1 日 「ＮＰＯユニ」から「ＮＰＯ法人アースキャラバン」へ法人名変更。

■2016 年度「アースキャラバン 2016」長崎をスタートし、カナダ、中東を巡り、エルサレムにて終了。

■2017 年度「アースキャラバン 2017」実施

■2018 年度「アースキャラバン 2018」実施

◆2019 年度『希望の火』プロジェクト始動

Earth Caravan

PILGRIMAGE FOR PEACE & JUSTICE

ヴィジョンとミッション

Vision & Mission

1）人種、宗教、国籍、思想信条などを超えて人が出会い、絆を深め、お互いの文化を分かち合うこと。

2）地球に生きるすべての人に「与え合い」の心が生まれ、戦争、紛争、貧困のない平和な世界が実現されること。

3）子どもたちの心に『希望の火』が灯り、世界が変わること。

アースキャラバンは、以上を目的に、これからも活動を続けます。

支援する

NPO 法人マンスリー会員になって支援

私たちにできることは、関心を持ち、心を通わせ、支援を長く続けていくこと。

この活動は、会員の方々の支援により成り立っています。本会の趣旨に賛同していただける個人、または団体であれば、どなたでもご入会いただけます。

ひと月のワンコインが大きなサポートにつながります。

マンスリー会員　一口 500 円 / 月　（何口でも可能です。）

ビレッジサポーター（子どもを含む村全体の里親支援）になって支援

教育を受けたいと願うすべての子どもに教育の機会をつくります。

両親、あるいは片親のいない子どもを通じて、村の里親（ビレッジサポーター）としてご支援いただける方。

子どもたちが夢に挑戦できるよう、みなさまのご支援お待ちしております。

【支援金】一口 1,000 円／月より（別途 NPO 会費：500 円／月）

寄付で支援

ゆうちょ銀行
口座番号００９５０－８－１９２７０１
口座名　特定非営利活動法人アースキャラバン

会員のご案内

伝える

～映画上映会で伝える～ ドキュメンタリー映画「BE FREE!」

戦後 70 年目の夏、原爆の残り火と共に世界を回ったアースキャラバンのロードムービー。メディアでは報道されない、パレスチナの驚くべき真実をぜひお伝えください。

～写真展で伝える～

現地のパレスチナ人写真家たちによって撮影された作品（B３サイズ～のパネル）の写真展。開催することで、彼らの声を人々に伝えて頂けたら嬉しいです。

「パレスチナ写真展　開催募集」

～スタディーツアーに参加する～

現地支援活動、および視察ツアー。
難民キャンプでの交流や井戸掘りなどで汗を流し、生きた体験を通してより真実が理解できます。
（パレスチナ／バングラデシュ）

NPO 法人アースキャラバン

〒605-0089 京都府京都市東山区古門前通大和大路東入元町 367-2　TEL/FAX：075-551-2770
東京事務局　〒165-0027 東京都中野区野方 1-5-11　TEL：03-3385-7558
E-mail：info@earthcaravan.jp　URL： www.earth-caravan.com

【事務局】